

## 9月17日・18日 北海道ブロックにて「保護司のための SST 研修」を開催しました

【北海道ブロック】東京ドームホテル札幌

講師：村本 好孝氏（SST 普及協会認定講師）、村上 元氏（SST 普及協会認定講師）、

上村 差知氏、加賀谷(西山)薫氏、大川 浩子氏、菊地 周志氏、源野 禎伸氏、

佐野 鮎美氏、長谷川 未央氏

参加者：33名（札幌13名・函館6名・旭川8名・釧路6名）

まず、SSTの基礎理論や進め方についての講義があり、その後、「初めての職場であいさつをする」をテーマに講師によるグループSSTのデモンストレーションが行われ、よかったところ、さらによくするポイントなどを参加者も一緒に考え話し合いました。



講師によるデモンストレーション

その後、ウォーミングアップを行い、3つのグループに分かれ、グループごとにテーマを決め、面接練習をしました。



Aグループ

グループSSTの様子、リーダー体験



Bグループ

課題「約束を守ってもらうように、同じ目線で伝える」



Cグループ

2人1組になり、テーマ等場面設定

2 日目は、1 日目に引き続き、3 グループに分かれ、リーダー、コ・リーダーを決めて行うグループ S S T を中心に、「対象者の次につながる面接をする」「昼起きて夜寝る生活を提案する」等、様々なテーマをもとに面接の練習をしました。

その後、講師によるコインマップを観察し、2 人 1 組になって実際に体験し、コインの代用として、手軽で大きさを変えることができるティッシュを使用する方法も学びました。



コインの代わりにティッシュを使用

最後に、講師による問題解決技法を用いた S S T のデモンストレーションが行われ、参加者が一緒に意見を出し合いながら演習をし、その後、2 人 1 組で実際に体験しました。



講師による問題解決技法を用いたデモンストレーション



2 人 1 組で問題解決技法を活用

33 名の参加者が、10 時間の研修を終え、講師から S S T 普及協会規程初級コースの修了証書が授与されました。研修生からは、「ほめる、待つ、相手の意見を引き出す大切さを感じた」「保護司活動だけでなく生活の中でも取りいれたい」「自己認識が深まり今後の役に立てたい」等感想をいただきました。